タジマタムラソウ(シソ 科)　　**兵庫県: Cランク**

Salvia omerocalyx Hayata　　**環境省: 絶滅危惧Ⅱ類**

種の概要

やや乾いた半日陰にはえ、蛇紋岩や花崗岩地にも多い多年草。葉は横にはった根茎の先に集まってつき、長い柄があって、羽状にわかれ、各羽片の縁に波状歯がある。頂羽片は大きく長楕円形～卵状長楕円形、長さ2-7cmになり、幅1.3-5cm、側羽片は1-2対あって小さい。茎は花茎状となってほとんど葉をつけることなく、高さ10-35cm、1本立ち、または少数分枝して密な花穂をつける。花期は5-6月。萼は長さ6-9mm、内側には一面に微細毛があって長毛はない。花冠は紫色、長さ10-13mmで大きく唇形に開き、雄蕊は中央の正面に2個が長く突き出る。

国内分布

県内分布

浜坂町、温泉町、村岡町、美方町、香住町、城崎町、日高町、豊岡市、関宮町、大屋町

選定理由

人為性		特殊性		学術性		
生育環境破壊	観賞用等採取	特殊生育環境	特異な生態	特殊な分布	分布の限界	希少
				○		

特記事項

基準産地。

保護上の留意点

生育地の保全